



市民の声を正しく美え実行！！

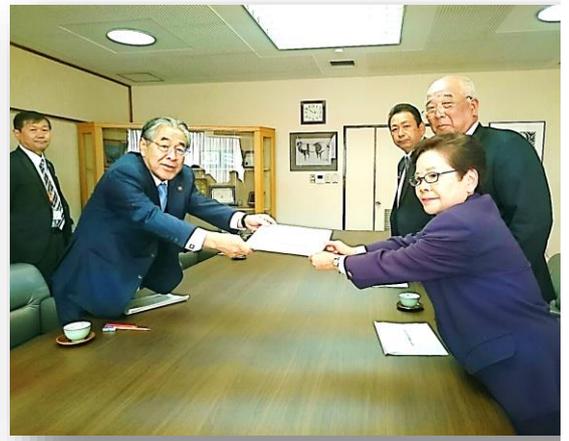
# 池上まさみ 通信

## 建議要望書の回答

2018年1月発行 発行者 池上まさみ後援会  
〒321-4323 真岡市東沼1564番地2  
TEL・FAX 0285-82-6324  
E-mail : yume@ikegami masami.com

私の所属する会派「市民クラブ」は、去る9月26日（火）に石坂市長へ建議要望を提出して、11月21日（火）に回答を頂きました。今回の主な要望内容は次のとおりです。

- ・企業の新規誘致と誘致に伴う優遇制度の見直し
  - ・婚活支援の相談窓口や相談員の増強
  - ・学校給食費の無料化
  - ・新しい「道の駅」の建設
  - ・女性管理職登用の向上
  - ・空き公共施設の有効活用
  - ・交通弱者への支援強化
  - ・スマートインターの設置
  - ・高齢者、障がい者の働く場所の確保
  - ・SLキーウロク館の有料化・まちなか朝市の開催
  - ・自然教育センターの一般への貸出など 合計54件
- 要望書を提出した結果、満足した回答は得られませんでした。女性管理職登用に関しては、平成32年度までに現状の2倍の15%を目標として設定したとのことでした。



これからも微力ではありますが、回答の結果にとらわれることなく継続的に提案してまいります。今後も、誰もが、安全・安心で住みやすい街づくりのため何かありましたら皆様方のご意見・ご要望をお寄せください。

## 市民クラブ会派視察報告

10月17日（火）から19日（木）にかけて、2泊3日の日程で、青森県大館市及び八戸市を視察してまいりました。大館市は、空き公共施設利用の先進地であり、5年前から「空き公共施設等利用活用促進条例」を制定し、民間企業等への貸付けや譲渡を積極的に推進しており、かつ、雇用面でも正規雇用者の確保を図っておりました。

一方、八戸市では、平成4年から男女共同参画の普及に努め、「八戸男女共同参画都市宣言」を行い、大きな成果を上げておりました。今後、これらを参考にしながら市政に提案していきたいと思っております。



# 登壇させて頂きました。 12/12

12月定例議会は、12月4日(月)から19日(火)に渡っておこなわれました。今議会の執行部からの議案は、市勢発展長期計画基本構想の変更や平成29年度真岡市一般会計・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計等の各補正予算と真岡市空き家等の適正管理及び活用促進に関する条例の制定や真岡市運動場設置、管理及び使用条例の一部改正など18議案が可決されました。質疑・一般質問は、12日・13日に10名の議員が登壇し、私は、2日目に登壇して、次の4件について執行部の考えを問いました。



## 1件目 安全・安心なまちづくりについて

### (1) 交通に係る施策について

- ① 市内で発生した交通事故を受けて、市はどのように分析・対応しているのか。
- ② 運転免許返納者の推移と今後の見込み数は。
- ③ 運転免許証自主返納者に対しての支援の期間や対象の見直しの考えは。
- ④ 高齢者の運転免許証書き換えに対して支援の考えはあるのか。
- ⑤ 今後の交通弱者の人数をどのように分析して、対策していくのか。

### (2) 交通に係る施策について

- ① いちごタクシーとコットベリー号の利用状況及び最近の具体的な改善内容と今後の見直し内容は。
- ② コットベリー号の無料化についての考えはあるのか。

\* 市内で死亡交通事故が発生した場合のみ、警察・道路管理者・市等立ち合いで事故現場の診断をして、原因や管理上の問題を検証して、様々な対応をしている。

\* 運転免許返納者は、年々増えて、平成28年は、173人であり、平成29年10月末では、206人となり、毎年20%の増を見込んでいる。

\* 運転免許証返納者に対しては、現行のままで、期間や対象の見直しは考えていない。

\* 高齢者の運転免許証書き換えに対しての支援については、教習所での予約が取りにくい状況なので、早目に予約するようホームページや地域座談会で周知していく。

(この問題については、市から県に対して要望をお願いするとともに県議会議員に対しても対策を要望いたしました。)

\* 今後の交通弱者については、将来の人口分布推計から高齢者が大幅に増えることから真岡市地域公共交通網形成計画に基づいていちごタクシーやコットベリー号の運行見直しや老人福祉タクシー事業等の移動手段の確保に取り組んでいく。

\* 平成29年度上半期の1日当たり、いちごタクシーは75人で、コットベリー号は、60.4人であり、目的地や停留所の追加及び予約受付時間の延長・運行時刻の修正を行った。今後は、東回りと西回りから分離して、3か所の乗り継ぎを検討している。

\* コットベリー号の無料化は受益者負担を考慮して、完全無料化の予定はない。

## 2 件目 スマートエネルギーもおかの推進について

### (1) 地球温暖化防止対策の取り組みについて

①市は電気・ガス・水道の節約をどのように分析し、目標を設定しているのか。

### (2) 電気自動車の導入計画について

①公用車の現状の使用台数の割合と今後の導入計画はあるのか。

### (3) 太陽光発電等に関する施策について

①市の施設における現状の状況と今後の導入計画は。

②太陽光発電の補助金制度は、今後も継続していくのか。

③エコキュート等その他の省エネルギー設備に対しての補助金制度の考えは。

\* 市全体の電気・ガス・水道の使用量の把握が困難な為、市民3,000名によるアンケートを実施し各使用に対して節約に取り組んでいる割合で把握し、前年対比10%減を目標としている。

\* 公用車は213台で電気自動車は2台の約1%であり、今後更新時には検討していく。

\* 太陽光発電施設の内、小規模を除くと5か所であり、4つの小学校（真岡小・山前小・中村小、久下田小）と市民会館の計5か所で容量は約105kwである。今後は、新庁舎を含め環境面や経済性をふまえ検討していく。差別化をしていく。

\* 太陽光発電補助制度は、平成21年から始まり平成29年11月末1,834件であり、今後も必要に応じて見直しを行いながら継続していく。

\* エコキュート等の省エネルギー設備に対しての補助制度については情報収集に努めているところである。

## 3 件目 小学校統合に伴う廃校への準備・対応について

### (1) 庁舎内の検討状況について

① 廃校施設の利活用検討会議の進捗及び内容は、どのようになっているのか。

### (2) 廃校となる小学校の支援について

①廃校となる4つの小学校への支援計画と廃校へ向けての準備の進捗は。

### (3) 小学校の図書について

①統合前の各小学校の図書数と個人文庫を含めた今後の図書の取り扱いは。

### (4) 小学校の飼育動物や備品について

①廃校となる小学校で飼育していた小動物や机等はどのように管理するのか。

\* 廃校施設の利活用庁舎内会議は、平成28年9月から延べ4回24名体制で開催し、先進事例の研究や未利用資産の整理及び地域座談会や民間事業者への説明会を検討して年度内に利活用案を取りまとめている。

\* 廃校となる学校に対しては交流行事を適宜に実施して相互理解を強めている。廃校に向けての準備に関しては、閉校式に伴う記念事業費補助として1校あたり120万円を交付し、スクールバスの運行を含め、概ね計画どおりで進捗している。

\* 廃校となる4つの小学校の図書数は、合計で18,053冊あり、個人文庫を合わせ統合する地区内外の小学校に有効活用を図っていく。

\* 廃校となる小学校の小動物は、統合する学校や他の学校へ移し、机等の備品も有効利用を図るために、他の小中学校等でも利活用を進めていく。

## 4 件目 魅力あるまちづくりについて

(1) いちごに関する愛称のついた施設について

- ① 新しく愛称がつけられた施設について、どのようにPRしていくのか。
- ② 愛称をPRするための看板等の設置はあるのか。

(2) まちかど美術館について

- ① 開設後の総来館者数を踏まえて、現状をどのように分析しているのか。
- ② 更なる来館者を増やすための方策等はどのようなことを考えているのか。

\* 愛称のPRについては、市ホームページや広報誌や各施設のチラシ、イベント告知等において愛称を積極的にPRしていく。

\* 愛称をPRするための看板については、既存の看板や標識、施設利用案内などへ活用していく。

\* まちかど美術館の総来場者は、1日平均7名で11月末現在延べ890人である。来場者のうち市民が6割であり、PR不足が一つとして考えられる。

\* 来場者を増やすための方策については、ホームページやポスター、チラシ等を含め親子で参加できるワークショップや市民ギャラリーの利用促進及び久保記念観光文化交流館との連携を考えている。

## 皆さんの疑問にお答え致します。教えて！その疑問？コーナー

### Q【質問？】

\* 政務活動費はいくらですか。また、どのようなものに使われているのでしょうか。

\* 真岡市の政務活動費は、他の市町に比べて高いのか。

\* 政務活動費を使わなかったときは余った時は、どこに繰り入れられるのか。

### A【お答えいたします！】

・平成29年12月末現在で、真岡市の政務活動費は、議員一人当たり年間33万円です。

(月割りで計算すると27,500円)  
使用目的としては、研修会費用や政務調査に掛かる費用などであり、ホームページで閲覧できます。

・県内の最高は宇都宮市議会議員で、年間120万円  
本市は、県内の中では14市中8番目であります。

決して高くはありません、

・政務活動費の残額はすべて、一般会計に戻されて個人的に還元されることはありません。

## 編集後記

政務活動費については、以前架空の流用領収書問題で社会的に注目を集め対策が必要不可欠となりました。本市でも見直しが行われ政務活動費内容等は、領収書を含め一般にも公表されております。ただ、政務活動費の執行率（交付額に対して使用した額）は、2015年度は60.6%であり、2016年度は51.1%で県内最低の執行率でした。この状態が続けば政務活動費の見直しもありかもしれません。私は、もっと有効活用を図るべきものと考えます。市民の皆様はどう思われますか。

